



日本応用心理学会 第85回大会 プログラム



2018年8月25日(土)－
8月26日(日)

大阪大学人間科学部

大会委員長
臼井 伸之介



万博記念公園（自然文化園・日本庭園）

入園料：大人 250 円、小中学生 70 円（自然文化園・日本庭園共通）

開園時間：9 時 30 分～17 時（最終入園 16 時 30 分）※イベント時は夜間開園の場合あり

休園日：水曜日※祝日の場合は翌日（4 月～GW、10・11 月は無休）

1970 年に開催された日本万国博覧会（大阪万博）跡地に整備された文化公園。都心から近い場所で自然を感じることができ、約 260ha の広大な敷地では四季折々の花々を楽しむ。

公園内には「太陽の塔」をはじめとする大阪万博レガシーが多く残っている。「日本鉄鋼連盟」のパビリオンであった「鉄鋼館」は、「EXPO'70 パビリオン」として当時の資料・写真・映像等を約 3,000 点展示し、当時の雰囲気や熱気を今に伝えている。

また、博覧会当時、政府出展施設であった日本庭園は日本の造園技術の粋を集めて造られた名園。上代・中世・近世・現代の 4 つの造園様式を散策しながら楽しめる。



（太陽の塔）



（EXPO'70 パビリオン）



（日本庭園・心字池）



（日本庭園・竹林の小径）

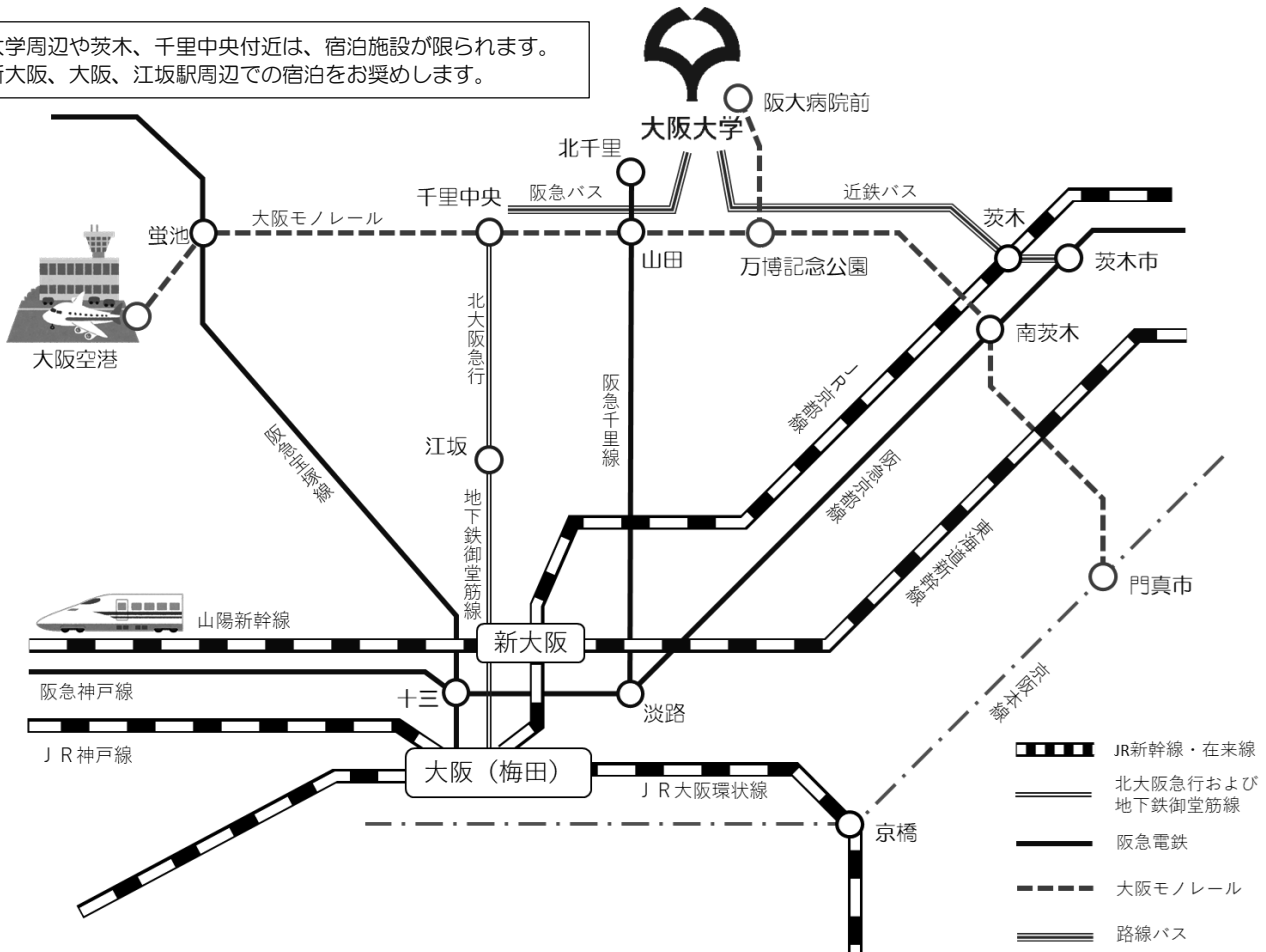
第 85 回大会プログラムおよび発表論文集の表紙に使用した太陽の塔の画像は、大阪府日本万国博覧会記念公園事務所にご提供いただきました。

日本応用心理学会
第 85 回大会プログラム

2018 年 8 月 25 日（土）～26 日（日）
大阪大学

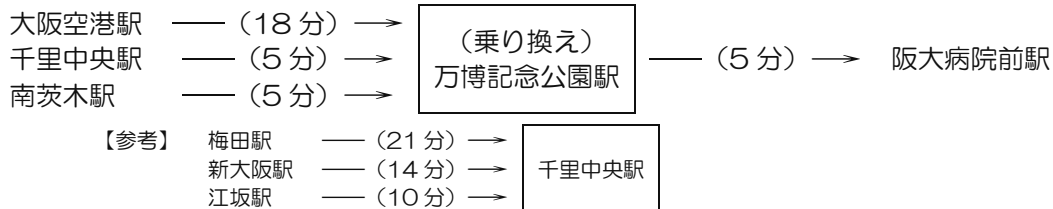
アクセスマップ

大学周辺や茨木、千里中央付近は、宿泊施設に限られます。
新大阪、大阪、江坂駅周辺での宿泊をお奨めします。



モノレールで

- 大阪モノレール万博記念公園駅で彩都線に乗り換え、阪大病院前下車。西へ約 450m。



近鉄バスで

- JR 茨木駅から近鉄バスで「阪大本部前行」に乗車し、「阪大医学部前」下車。西へ約 300m。

JR 茨木駅 (6 番乗り場、13・15・24・25 系統) —— (20 分) ——> 阪大医学部前

【参考】	大阪駅	—— (快速 13 分、普通 17 分) ——>	茨木駅 ※新快速は停車しません
	新大阪駅	—— (快速 8 分、普通 12 分) ——>	
	京都駅	—— (快速 28 分、普通 30 分) ——>	

- 阪急茨木市駅から近鉄バス「阪大本部前行」に乗車し、「阪大医学部前」下車。西へ約 300m。

阪急茨木市駅 (4 番乗り場、13・15・24・25 系統) —— (30 分) ——> 阪大医学部前

その他

- 千里中央駅から阪急バス「阪大本部前行」または「茨木美穂ヶ丘行」で「阪大医学部前」下車。西へ約 300m。※土日は便数が少ないです。

千里中央 (6 番乗り場、164・105 系統) —— (10 分) ——> 阪大医学部前

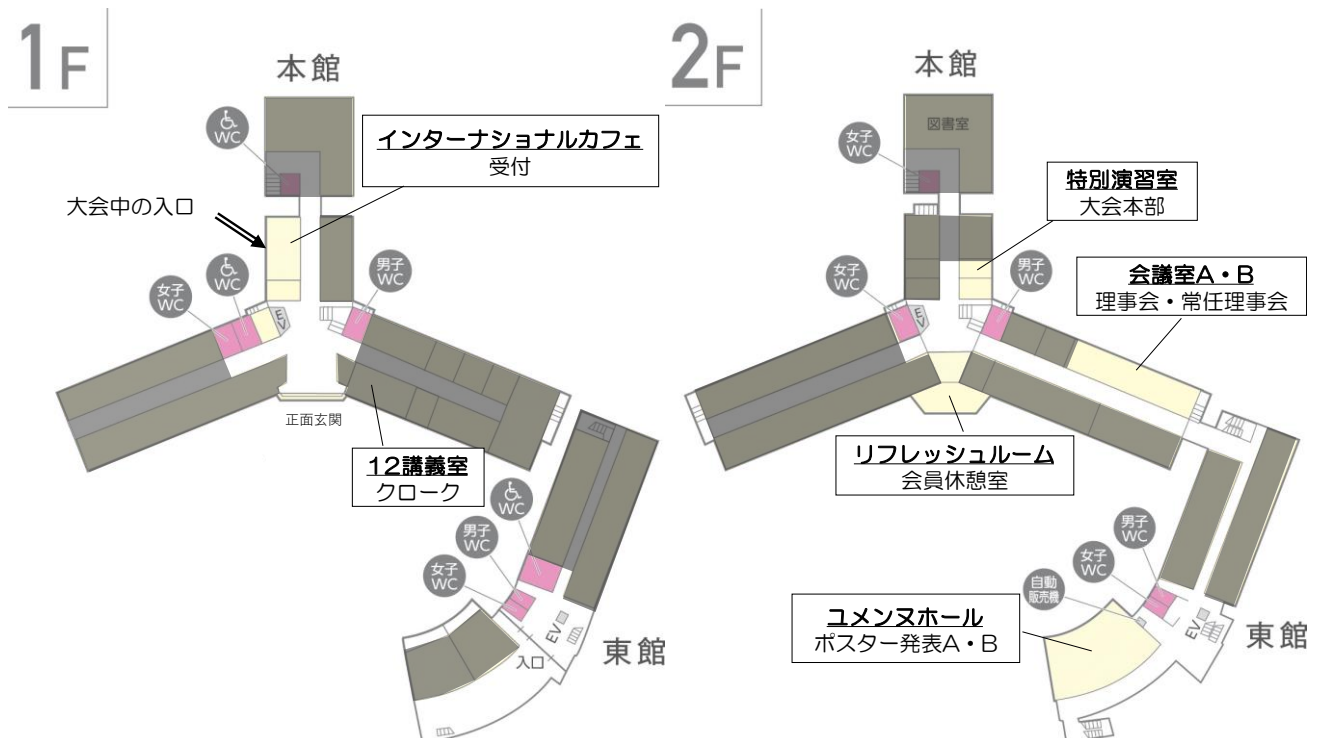
- 阪急千里線、北千里駅 (終点) 下車。東へ約 2km。

キャンパスマップ

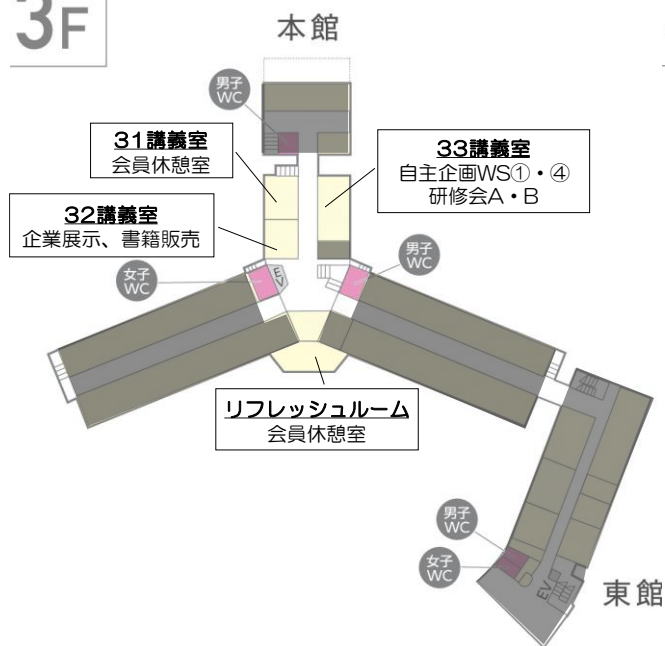


館内案内図

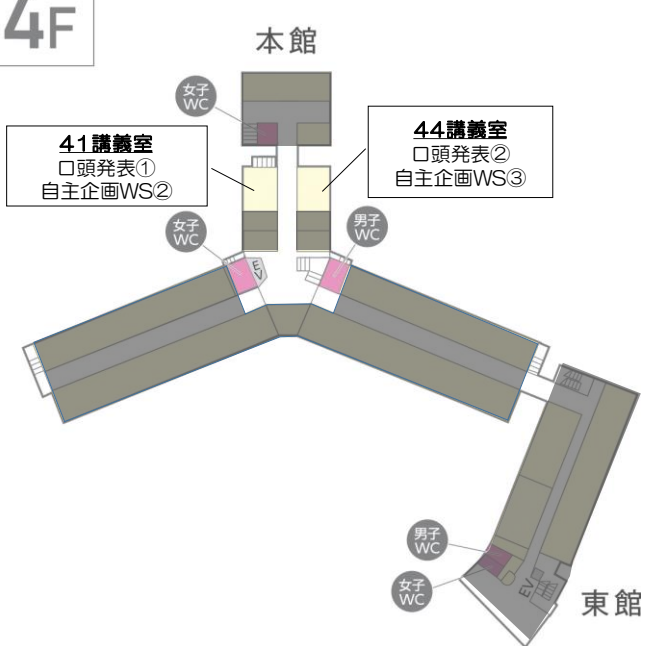
※グレーの区画は、スタッフ以外の立入を制限する区画です。ご了承ください。



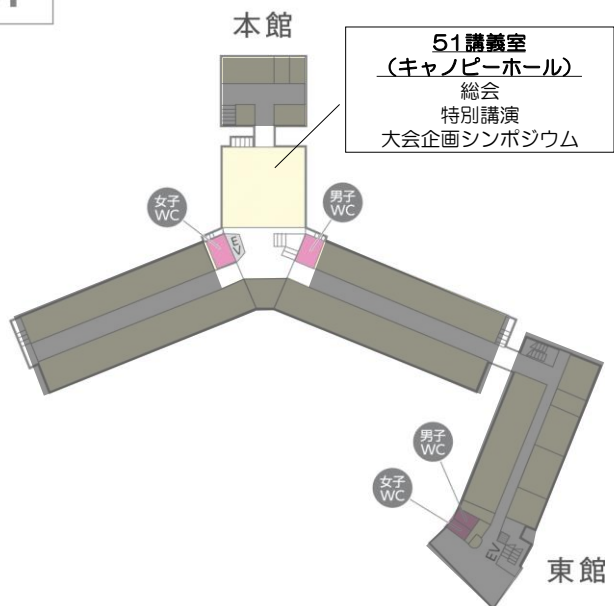
3F



4F



5F



大会参加者へのご案内

[1] 大会受付

日時：2018年8月25日（土）9：00～17：30 26日（日）9：00～16：00

場所：大阪大学人間科学部（吹田キャンパス） 本館1階インターナショナルカフェ

【名誉会員の方】

名誉会員の方は、「総合案内」にお立ち寄りください。名誉会員の方は、大会参加費、発表費、研修会費、懇親会費はすべて無料です。また、大会参加時に発表論文集を1冊贈呈致します。

【事前予約参加の方】

事前予約をされている方は、「事前予約参加者受付」にお立ち寄りください。参加証と領収証とネームプレートをお渡しします。大会期間中は参加証をネームプレートに入れ、常に身につけてください。発表者（連名発表者を含む）、ワークショップ企画者、論文集購入者には、論文集をお渡し致します。非会員の連名発表者の参加証と領収証と発表論文集は、責任発表者の方にまとめてお渡しします。

【当日参加の方】

当日参加の方は、「当日参加受付」にお立ち寄りください。当日参加の方は、参加申込票に必要事項をご記入のうえ、大会参加費（下表）を添えて「当日参加受付」にお申し込みください。名札入れ、参加証および領収書をお渡し致します。大会期間中は参加証をネームプレートに入れ、常に身につけてください。

大会関係の諸費用（当日納入）について

	会員		非会員	
大会参加費	一般会員・終身会員	6,000 円	一般	7,000 円
	院生会員	3,500 円	大学院生	3,500 円
	学生会員	2,500 円	学部学生	2,500 円
学会研修会費		1,000 円		1,500 円
論文集購入費	個人	6,000 円	個人	6,000 円
	機関	8,000 円	機関	8,000 円
懇親会参加費	一般会員・終身会員・同伴者	6,000 円	一般・同伴者	6,000 円
	院生会員・学生会員	4,000 円	大学院生・学部学生	4,000 円

【クローク】

クロークは、本館1階12講義室です。本館1階男子トイレ向かいに設置しております。お荷物をお預かりする際に引換券をお渡し致します。引換券をなくされた場合、確認のため身分証の提示をお願いすることがあります。なお、PC等の高価な電子機器類を含む貴重品はお預かりすることはできません。

クローク受付時間：8月25日（土）・26日（日） 9：00～17：30

[2] 会員総会

日時：8月25日（土） 11：45～13：00

場所：本館51講義室（キャノピーホール）

重要な議題が予定されておりますので、会員の方はご出席ください。なお、総会では、昼食をご用意しております。

〔3〕懇親会

日時：8月25日（土） 17：30～

場所：リーガロイヤルホテル スカイレストラン（大阪大学医学部附属病院14階）

〔4〕優秀大会発表賞

今大会でも優秀大会発表賞を選考します。選考対象は口頭発表とポスター発表のみで自主企画ワークショップは含まれません。発表論文集原稿、当日の発表、質疑応答などを総合的に判断して、優秀な研究発表をご推薦ください。投票は8月25日（土）と8月26日（日）におこなうことができます。投票用紙は会場に設置してある投票箱に投函してください。発表者（連名発表者を含む）は、ご自身の発表へ投票できませんので、ご注意ください。

〔5〕託児サービス

託児サービスの利用を検討している方は、7月31日（火）17時までに大会準備委員会（jaap2018@hus.osaka-u.ac.jp）までご連絡下さい。サービスの詳細につきましては、ホームページ上に公開しております。なお、ご連絡には、できるだけHP上の「連絡フォーム」をご利用くださいますよう、よろしくお願い致します。

〔6〕障がいのある方へのサポート

本大会では、障がいのある方にもできる限り大会に参加していただけるよう、ノートテイクや車いす利用に伴う介助など各種取組を行います。ご希望のサポート内容とご利用を希望する日時を、大会準備委員会（jaap2018@hus.osaka-u.ac.jp）まで下記の連絡フォームにてお知らせください。サポート内容に応じてスタッフを確保しなければなりませんので、必ず締め切り日までに予約をお願い致します。

申込締切：2018年7月10日（火）

〔7〕その他

- (a) 本館32講義室にて、企業展示および書籍販売を行っております。どうぞお立ち寄りください。
- (b) 休憩所は以下の通りです。31講義室ではお飲み物、お菓子をご用意しております。
本館2階 リフレッシュルーム（コピー機設置）
本館3階 リフレッシュルーム（飲料自販機設置）
本館3階 31講義室
- (c) 館内はすべて禁煙です。ご協力をお願い致します。
- (d) 会場内では、携帯電話はマナーモードにしてください。
- (e) ファックス、宅配便は近隣のコンビニエンスストアをご利用ください。
- (f) 8月25日（土）は福利厚生棟の学生食堂が開いています。8月26日（日）は阪大病院内の1Fローソンと同じく1Fの一般食堂のみ開いていますが、混雑が予想されるため、各自昼食の持ち込みをお勧めします。
- (g) 大会本部は、本館2階特別演習室です。大会中の緊急連絡は、こちらをお願い致します。
- (h) 駐車場をご利用の場合は、事前に大会準備委員会（jaap2018@hus.osaka-u.ac.jp）までご連絡ください。
- (i) 大阪大学の学内無線LAN（ODINS）をご利用になれます。接続方法は追ってご連絡します。なお、ODINSはEduroam（エデュロム）に対応しているため、他のEduroam参加機関に所属の先生方はご所属先でのパスワードにて接続可能です。

口頭発表者へのご案内

【発表者の方へ】

1. 口頭発表は、本館 41 講義室・44 講義室にて行います。
2. 口頭発表は、論文集への論文掲載、当日の発表・質疑応答への参加によって、公式発表とみなされます。
3. 連名発表の場合、発表及び質疑応答は責任発表者が行うものとします。発表時間は 1 件につき 18 分です。そのうち、講演が 12 分、質疑応答が 5 分です（交替時間 1 分）。発表中は以下の通りに合図致します。
1 鈴：10 分経過 2 鈴：12 分経過（発表終了） 3 鈴：17 分経過（質疑応答終了）
4. 大会委員会でプロジェクトとノート PC (Windows 10、PowerPoint 2016) をご用意します。この PC をご利用の方は、セッション開始 15 分前までに会場にお越し頂き、発表用ファイルのインストール作業と動作確認をお願い致します。必ず上記の環境で動作するファイルをご用意ください。PC によるスライド発表のみとなります。その他の映像提示装置は使用できません。
5. ご自身の PC を利用される場合も、セッション開始前までに動作確認をお願い致します。会場には HDMI および VGA ケーブル (D-Sub 15 ピン) を用意します。電源アダプタや変換コネクタ等をご用意下さい。
6. 音声接続をご利用の方は、事前に大会委員会へご相談下さい。
7. 発表者自身の責による映写の不具合については、大会委員会は一切責任を負いません。またそれに伴う、発表時間の延長も原則行いません。
8. 資料を配布される方は、各自ご準備の上、セッション開始前に会場スタッフにお渡しください。会場入り口に資料を配置します。なお、会場での印刷はできません。配付資料は必ず事前にご用意ください。

【座長の方へ】

1. ご担当されるセッション開始 10 分前までに会場へお越し下さい。
2. フロアからの質問や意見を述べられる方には、お名前と所属を明らかにするようにお伝え下さい。

ポスター発表者へのご案内

1. ポスター発表会場は、東館 2 階ユメンスホールにて行います。
2. ポスター発表会場内にポスター発表用受付を設けます。セッション開始の 10 分前までに受付へお越しください。ボードに掲示するための画鋏と責任発表者用のリボンは、その際にお渡しします。
3. ポスター発表は、論文集への論文掲載、当日のポスター掲示、および在席責任時間の質疑応答への参加によって、公式発表とみなされます。
4. ポスターの掲示範囲は、1 発表につきポスターは横 90 cm×縦 210 cm までです。この大きさに収まるように作成してください。なお、ポスター上部には発表題目、氏名および所属を明示して下さい。
5. ポスターを掲示するボードには、それぞれに発表番号が付いています。発表者は発表当日の時間までに、持参したポスターをご自分の発表番号の付されたボードに掲示してください。両日ともに 13:45 から掲示できます。
6. ポスターセッション全体の時間は 2 時間です。演題番号が奇数の発表者はセッション前半の 1 時間、偶数発表者はセッション後半の 1 時間が在席責任時間です。この時間中に係員が出欠の確認に伺います。
7. 在席責任時間が終わっても、セッション終了時刻まではポスターの掲示をしておいてください。ポスターの撤去は、発表者がセッション終了 10 分後までに行ってください。

ワークショップ発表者・企画者へのご案内

【発表者の方】

1. 大会委員会でプロジェクタとノート PC (Windows 10、PowerPoint 2016) をご用意します。この PC をご利用の方は、セッション開始 15 分前までに会場にお越しいただき、発表用ファイルのインストール作業と動作確認をお願い致します。必ず上記の環境で動作するファイルをご用意ください。PC によるスライド発表のみとなります。その他の映像提示装置は使用できません。
2. ご自身の PC を利用される場合も、セッション開始前までに動作確認をお願い致します。会場には HDMI および VGA ケーブル (D-Sub 15 ピン) を用意します。電源アダプタや変換コネクタ等はご用意下さい。
3. 音声接続をご利用の方は、事前に大会委員会へご相談下さい。
4. 資料を配布される方は、各自ご準備の上、セッション開始前に会場のスタッフにお渡しください。会場入口に資料を配置します。なお、会場での印刷はできません。配布資料は必ず事前にご用意ください。

【企画者の方へ】

1. ワークショップ開始 10 分前までに会場へお越しください。
2. フロアから質問や意見を述べられる方には、お名前とご所属を明らかにするようお伝えください。
3. 終了時間厳守でお願いします。

大会についてのお問い合わせと連絡先

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 518 司ビル 3F IBI 内

日本応用心理学会大会受付事務局

TEL: 03-5273-0473 FAX: 03-3203-5964 E-Mail: j-aap@ibi-japan.co.jp

URL: <http://congress.j-aap.jp/2018/index.html>

直接準備委員会にお問い合わせの際は、jaap2018@hus.osaka-u.ac.jp へお願い致します。

理事・監事の皆さまへ

以下の通り、理事会を開催致します。理事、監事の皆さまはご参集のほどよろしくお願い申し上げます。

理事会

日時：8月24日（金）15：30～

場所：本館2階会議室B

また常任理事会は以下の通り開催致します。常任理事の皆さまはご参集のほどよろしくお願い申し上げます。

常任理事会

日時：8月26日（日）11：45～

場所：本館2階会議室A

タイムテーブル

8月25日(土) 第1日目

9:00受付開始

10:00	口頭発表① 【犯罪・社会・産業・交通・災害】 〔41 講義室〕	口頭発表② 【教育・発達・人格・臨床・看護】 〔44 講義室〕	自主企画 WS① 【臨地でのマッサージに必要なリスクマネジメント】 〔33 講義室〕
11:30			

11:45	総会 〔51 講義室（キャノピーホール）〕		
13:00			

13:20	特別講演 行動経済学とナッジ 〔51 講義室（キャノピーホール）〕		
14:20			

14:45	ポスターA 〔ユメヌホホール〕	研修会 A 人に着目した応用心理学：交通心理学の場合 〔33 講義室〕
15:45		
16:45		

17:30	懇親会 〔医学部附属病院 14 階スカイレストラン〕		
19:30			

8月26日(日) 第2日目

9:00受付開始

10:00	自主企画 WS② 【安全教育研究におけるネガティブデータから学ぶ】 〔41 講義室〕	自主企画 WS③ 【カウンセリング、心理療法へのアジアからの発信(2)】 〔44 講義室〕	自主企画 WS④ 【スポーツにおける体罰を考える】 〔33 講義室〕
11:30			

	昼休み		常任理事会 〔会議室 A〕	11:45 12:45
13:00				

13:00	大会企画シンポジウム 心理学諸領域から交通安全を斬る 〔51 講義室（キャノピーホール）〕		
14:30			

14:45	ポスターB 〔ユメヌホホール〕	研修会 B 公認心理師と心理コンサルティング・心の健康教育の理論と実践 〔33 講義室〕
15:45		
16:45		

特 別 講 演

8月25日(土) 13:20～14:20 本館 51 講義室 (キャノピーホール)

行動経済学とナッジ

講演者：

大竹 文雄 (大阪大学大学院経済学研究科 教授)

司会：

臼井 伸之介 (大阪大学大学院人間科学研究科)

本講演では、損失回避、現在バイアス、社会的選好、限定合理性などの行動経済学の主な概念を解説した上で、それを公共政策に応用するナッジについて紹介する。「ナッジ」は選択を禁じることも、経済的なインセンティブを大きく変えることもなく、人々の行動を予測可能な形で変える選択アーキテクチャーのあらゆる要素を意味する。特に、労働、医療、財政など様々な分野におけるナッジの例とナッジの設計方法について説明する。

大会企画シンポジウム

8月26日(日) 13:00～14:30 本館 51 講義室 (キャノピーホール)

心理学諸領域から交通安全を斬る

話題提供：

大谷 亮 (一般財団法人日本自動車研究所)

「子どもの交通事故低減に向けた安全対策 –心理学的観点からのアプローチ–

小菅 英恵 (公益財団法人交通事故総合分析センター／筑波大学大学院)

「発達障害児・者の交通事故リスク：ADHD の注意特性に関する基礎的研究を中心として」

島崎 敢 (国立研究開発法人防災科学技術研究所)

「お得な防災行動と褒めて伸ばす安全運転 –安全な行動を誘発する心理学的アプローチ–

指定討論：

志堂寺 和則 (九州大学大学院システム情報科学研究院 教授)

司会：

中井 宏 (大阪大学大学院人間科学研究科)

自主企画ワークショップ

8月25日(土) 10:00-11:30 本館 33 講義室

WS1 臨地でのマッサージに必要なリスクマネジメント

企画者・話題提供者	大野 夏代	札幌市立大学看護学部
司会者	山本 勝則	天使大学看護栄養学部

8月26日(日) 10:00-11:30 本館 41 講義室

WS2 安全教育研究におけるネガティブデータから学ぶ

企画者・司会者	森泉 慎吾	大阪大学大学院人間科学研究科
話題提供者	多田 昌裕	近畿大学理工学部
話題提供者	高橋 明子	(独)労働安全衛生総合研究所
話題提供者	稲葉 緑	情報セキュリティ大学院大学
指定討論者	中地 展生	帝塚山大学心理学部・こころのケアセンター

8月26日(日) 10:00-11:30 本館 44 講義室

WS3 カウンセリング、心理療法へのアジアからの発信(2)

企画者・司会者・指定討論者	林 潔	白梅学園短期大学
司会者	長澤 里絵	立正大学心理学部
話題提供者	加藤 博己	駒澤大学文学部
話題提供者	小室 央允	駒澤大学文学部
話題提供者	李 同帰	北京大学

8月26日(日) 10:00-11:30 本館 33 講義室

WS4 スポーツにおける体罰を考える

企画者	市川 優一郎	日本体育大学
企画者・司会者	藤田 主一	日本体育大学
話題提供者	軽部 幸浩	日本体育大学
話題提供者	三村 覚	大阪産業大学
指定討論者	古屋 健	立正大学

学会研修会

研修会A

8月25日(土) 14:45~15:45 本館 33 講義室

人に着目した応用心理学：交通心理学の場合

講師：松浦 常夫（実践女子大学人間社会学部 教授）

司会：篠原 一光（大阪大学大学院人間科学研究科）

研修会B

8月26日(日) 14:45~15:45 本館 33 講義室

公認心理師と心理コンサルテーション・心の健康教育の理論と実践

講師：平井 啓（大阪大学大学院人間科学研究科 准教授）

司会：太刀掛 俊之（大阪大学キャンパスライフ健康支援センター）

口頭発表 8月25日(土)

口頭発表1 犯罪・社会・産業・交通・災害(会場:本館41講義室) 10:00~11:30

座長 山本 睦・関 陽子

※責任発表者のみ記載

- | | | | |
|-------|--|--------|------------------------|
| 01-01 | ST-IATを用いた欺瞞性認知の測定と妥当性の検討 | 大工 泰裕 | 大阪大学大学院人間科学研究科・日本学術振興会 |
| 01-02 | 潜在保育者の効力感とレジリエンス,必要とする支援の特徴:卒業後8,7,6,5年目の4年制養成校卒業生を対象とした調査から | 山本 睦 | 常葉大学保育学部 |
| 01-03 | 書字中の筆圧変化と書字速度における個人性 | 関 陽子 | 科学警察研究所 |
| 01-04 | 要配慮者の地域防災活動への関与に影響する要因の検討 | 静間 健人 | 関西大学大学院社会安全研究科 |
| 01-05 | 踏切標識のデザインが自動車ドライバーの行動を変容させる | 上田 真由子 | 大阪大学大学院人間科学研究科 |

口頭発表2 教育・発達・人格・臨床・看護(会場:本館44講義室) 10:00~11:30

座長 伊東 昌子・松本 友一郎

※責任発表者のみ記載

- | | | | |
|-------|--------------------------------------|-----------------|--------------------------|
| 02-01 | 言語発達初期における「胚性詞」の研究:予備的調査の報告と実践への示唆 | 萩原 広道 | 京都大学大学院人間・環境学研究科・日本学術振興会 |
| 02-02 | 楽観主義研究の現状と課題 | Aneesah Nishaat | 創価大学文学研究科 |
| 02-03 | 大村政男と血液型心理学ー日本応用心理学会における活動を振り返って(3)ー | 藤田 主一 | 日本体育大学 |
| 02-04 | 学生はプロジェクト型科目におけるプロセスマネージを意識するか | 伊東 昌子 | 常磐大学人間科学部 |
| 02-05 | 臨床看護師のself-efficacyについての質的分析 | 中谷 章子 | 筑波大学大学院人間総合科学研究科 |

ポスター発表 8月25日(土)

ポスター発表 A 14:45～16:45

在籍責任時間 奇数番号 14:45～15:45 偶数番号 15:45～16:45

※責任発表者のみ記載

認知・感情

- | | | | |
|------|--|--------|------------------|
| A-01 | 非機能・機能衝動性、情報処理スタイルおよび過剰適応の関連性 | 小橋 真理子 | 立正大学大学院心理学研究科 |
| A-02 | 癒される音楽が持つ1/f ゆらぎ特性ーゆらぎアナライザーを用いてー | 小原 宏基 | 帝塚山大学大学院心理科学研究科 |
| A-03 | 1/f ゆらぎからみた長音階と短音階ー短調はなぜ心をザワつかせるのかー | 川合 悟 | 帝塚山大学大学院心理科学研究科 |
| A-04 | (発表取り消し) | | |
| A-05 | ブルースト現象が主観的幸福感および認知課題遂行に及ぼす影響ー「食」に関するにおい刺激を記憶想起手がかりとして用いた検討ー | 小林 剛史 | 文京学院大学人間学部 |
| A-06 | 紙筆版IATを用いた潜在的態度の検討ー「在日コリアン」を対象として | 品川 知昭 | 日本大学大学院総合社会情報研究科 |

教育・人格

- | | | | |
|------|---|-------|--------------------------|
| A-07 | 宗教・道徳教育尺度の開発
宗教教育が内包する道徳教育的効果を評価するための尺度 | 大門 耕平 | ヴォーリズ学園近江兄弟社中学校・京都工芸繊維大学 |
| A-08 | 大学生の不登校傾向と発達障害の特性及びレジリエンスの関連 | 北沢 卓也 | 帝塚山大学大学院心理科学研究科 |
| A-09 | 研修の効果測定
コンピテンシー変化の測定と成果との相関 | 星 洋 | 社団法人行動特性研究所 |
| A-10 | 道徳性と社会場面での認知との関係 | 藤野 京子 | 早稲田大学文学学術院 |
| A-11 | 小中学生の学習行動を促進する介入方法の検討
(1)ー自己価値への介入が自己評価に及ぼす影響ー | 埴田 健司 | 東京未来大学モチベーション行動科学部 |
| A-12 | 小中学生の学習行動を促進する介入方法の検討
(2)ー利用価値への介入が理科の価値認知・興味追求に及ぼす影響ー | 小林 寛子 | 東京未来大学モチベーション行動科学部 |
| A-13 | 学習行動の促進・阻害要因の検討ー小中学生の学習意欲と学習行動、学業成績との関連性ー | 磯 友輝子 | 東京未来大学モチベーション行動科学部 |
| A-14 | (発表取り消し) | | |
| A-15 | 教師のエンパワーメントを測定する尺度の開発
(2)
教師個人の自己認知レベルに着目して | 池田 琴恵 | 至学館大学 |
| A-16 | 青年期におけるパーソナリティの変化ーTPI
(東大版総合人格目録)を指標としてー | 外島 裕 | 日本大学商学部 |
| A-17 | 女子力とは何か？
期待を寄せる他者の違いからの検討 | 小島 弥生 | 埼玉学園大学人間学部 |

臨床・福祉

- | | | | |
|------|--|-------|-------------------|
| A-18 | 障がい児の行動とその保護者のスピリチュアルな態度― 自閉スペクトラム症や脳性麻痺などの障がい児に対するフォローアップ調査 ― | 木村 友昭 | 一般財団法人MOA健康科学センター |
| A-19 | 保育現場における親を喪失した子どもへの支援実態と課題 | 加藤 恵美 | 静岡県立大学短期大学部 |
| A-20 | 保育士の語りテクストマイニング分析
白杖ユーザによる白杖を用いた床のテクスチャー弁別 | 布川 清彦 | 東京国際大学人間社会学部 |
| A-21 | 養育者への内的作業モデル及び友人関係と共感性との関連 | 木下 雅博 | 甲南大学人間科学研究所 |
| A-22 | 内的作業モデルが抑うつを生起する認知過程の検討 | 嶺 哲也 | 大阪国際大学 学生相談室 |
| A-23 | 自閉スペクトラム症傾向と愛着スタイルがソーシャル・サポート、被害念慮、抑うつに及ぼす影響 | 竹田 達生 | 帝塚山大学大学院心理科学研究科 |

健康・看護

- | | | | |
|------|---|--------|------------------------------|
| A-24 | 大学生のウェルビーイングに学習動機づけが及ぼす効果 | 鈴木 慎也 | 名古屋工業大学大学院工学研究科 |
| A-25 | 就労成人におけるウェルビーイング
快楽主義と理性主義の2要素による実態把握 | 鷲見 克典 | 名古屋工業大学大学院工学研究科 |
| A-26 | 日本の中国人留学生と中国の大学生におけるウェルビーイング | 李 運 | 名古屋工業大学大学院工学研究科 |
| A-27 | 日藝版「癒し」評価スケールを用いた花や写真の鑑賞による癒しの評価―気分・不安障害に関する2群間の比較― | 内田 誠也 | 一般財団法人MOA健康科学センター |
| A-28 | 看護学生の社会人基礎力からみるレジリエンス支援の検討 | 大西 安代 | 公益社団法人 神戸市民間病院協会
神戸看護専門学校 |
| A-29 | 看護学生のキャリア発達への支援 | 林 美栄子 | 公益社団法人 神戸市民間病院協会
神戸看護専門学校 |
| A-30 | 学士課程の看護学生が志向する看護職者としての10年後の満足なキャリアイメージ | 中本 明世 | 甲南女子大学看護リハビリテーション学部 |
| A-31 | 看護学生の患者の動作予測の内容 | 蒲生 澄美子 | 埼玉医科大学短期大学看護学科 |
| A-32 | 助産師教師から見た病院勤務助産師の思い | 江幡 芳枝 | 日本保健医療大学看護学科 |

社会・文化

- | | | | |
|------|--|--------|------------------|
| A-33 | 成人の募金動機の構造 | 山本 陽一 | 筑波大学大学院人間総合科学研究科 |
| A-34 | 保育士のコミュニケーションスキルと精神的健康との関連―男性保育士の精神的健康はコミュニケーション次第?― | 日向野 智子 | 東京未来大学こども心理学部 |
| A-35 | 奇抜な名づけに影響を及ぼすパーソナリティーの検討 | 佐々木 小巻 | 大阪大学大学院人間科学研究科 |
| A-36 | ムスリムに対するテロイメージと受容的態度の関係 | 松木 祐馬 | 早稲田大学文学研究科 |

- | | | | |
|------|--|-------|---------------|
| A-37 | 妖怪の生起メカニズムと社会的役割の検討
(2)
代表的な妖怪の類型化と現代における代替物 | 高橋 綾子 | 東洋大学大学院社会学研究科 |
| A-38 | キャラクターのデータベース消費仮説を否定
する | 山岡 重行 | 聖徳大学心理・福祉学部 |

産業・災害

- | | | | |
|------|--|--------|-----------------------|
| A-39 | (発表取り消し) | | |
| A-40 | 新規卒者の入社後のキャリア発達に関する時
系列的研究 | 竹内 倫和 | 学習院大学経済学部 |
| A-41 | 仕事への潜在的・顕在的態度と職場における本
音の表出不能経験の関連 | 松本 友一郎 | 中京大学心理学部 |
| A-42 | 商品選択における文脈効果(Ⅲ)ー競争者、標
的、おとりの価格配置の効果ー | 蜂屋 真 | 流通科学大学人間社会学部 |
| A-43 | 上司・部下関係における信頼と被信頼の個人内
相補性 | 藤原 勇 | 京都橘大学健康科学部 |
| A-44 | 企業労働者の社会貢献認知 | 梶原 隆之 | 文京学院大学人間学部 |
| A-45 | 産業組織における作業をシミュレートした演習
課題において発生するヒューマンエラーとその
要因の検討:ある産業組織における安全研修の
ケーススタディ | 工藤 大介 | 公益財団法人大原記念労働科学
研究所 |
| A-46 | 組織間における安全文化の問題点の事例検討
ー本社・事業場間および発注・受注者間に着目
してー | 余村 朋樹 | 公益財団法人大原記念労働科学
研究所 |

ポスター発表 8月26日(日)

ポスター発表B 14:45～16:45

在籍責任時間 奇数番号 14:45～15:45 偶数番号 15:45～16:45

※責任発表者のみ記載

原理・認知

B-01	FX投資経験者の未来予測における価値観の影響	篠原 恵	大阪大学大学院人間科学研究科
B-02	心臓血管手術を受ける高齢患者のせん妄発症と術前不安に関する予備的調査	福永 寛恵	熊本大学社会文化科学研究科
B-03	2因子知能観尺度の信頼性・妥当性の検討	市村 祐樹	立正大学大学院心理科学研究科
B-04	カタストロフィ理論が示唆する高機動航空機における加速度性意識喪失現象への複数パラメータの関与	廣島 克佳	防衛省 航空自衛隊 航空安全管理隊
B-05	不安や失敗観が単純な認知課題におけるエラー反応に与える影響	和田 一成	西日本旅客鉄道株式会社安全研究所

教育・人格・発達

B-06	学生の抱く有能感に関する研究Ⅰ－友人選択及び大学生生活充実感との関連性－	増南 太志	埼玉学園大学
B-07	学生の抱く有能感に関する研究Ⅱ－友人選択及び職業的不安との関連性－	尾形 和男	埼玉学園大学
B-08	将来展望とライフイベント・自己意識との関連 公的自己意識・私的自己意識に着目して	三島 浩路	中部大学現代教育学部
B-09	醜形恐怖心性と主観的幸福感との関連	大村 美菜子	目白大学人間学部
B-10	時間・重要度ライフスタイル別に見たCAVT・コミュニケーションスキルとの関連－大学生活5領域によるタイプに着目して－	湯口 恭子	関西大学大学院心理科学研究科
B-11	プロセスレコードからみる看護学生の楽観性について	藤井 一美	立正大学大学院心理科学研究科
B-12	愛着スタイルが大学生の対人関係と道徳的規範に及ぼす影響	久保井 路子	帝塚山大学大学院心理科学研究科
B-13	授業における「質問づくり」導入の試み 質問に対する態度および批判的思考態度の変化に焦点をあてて	北風 菜穂子	大東文化大学文学部
B-14	教師からの賞賛・叱責経験と自尊感情との関連 －本来感と自己価値の随伴性を用いて－	西川 友貴	甲南大学大学院人文科学研究科
B-15	養護教諭による虐待の原因の類型に関する研究 (3)－特別支援教育に対する実態と意識との関係について	石橋 裕子	帝京科学大学教育人間科学部
B-16	幼児期初期における「じぶん」の認識について －鏡に映っているのはだれ？はたして「じぶん」なのか－鏡像反応を中心に－	高木 玉江	大阪健康福祉短期大学
B-17	首尾一貫感覚の形成に関連する要因について 養育環境や信頼感がSOCに与える影響に関するモデルの検討	銅直 優子	流通科学大学人間社会学部

B-18	「キモい」についての研究 (2)	角野 善司	高崎健康福祉大学人間発達学部
B-19	成人愛着スタイルと対人関係	佐藤 舞	早稲田大学
臨床・相談			
B-20	「能動的ユーモア」によるストレスコーピングの効果 大学生と高校生とのユーモアコーピングの比較	西野 弓月	西澤クリニック
B-21	精神疾患構造化面接法 (M. I. N. I.) による自殺の危険度と、サークル・テストにおける時間的発展性 (志向性)・優位性との関係について	藤野 美香	日本大学大学院総合社会情報研究科
B-22	障害 (者) に対する大学生のイメージについて3	豊村 和真	北星学園大学社会福祉学部
B-23	化学物質過敏症の子をもつ母親のPAC分析	杉山 太遊	福島学院大学福祉学部
B-24	化学物質過敏症者の不安・悩みに関する個人別態度構造分析	杉山 沙羅	福島学院大学大学院心理科学研究科
B-25	大学生のデートDV予防に関する調査-罪悪感とアサーションスキルに着目して-	北村 莉彩	帝塚山大学大学院心理科学研究科
B-26	インターネット利用傾向と発達障害傾向の関連性について-ADHD傾向に関する探索的調査-	大久保 純一郎	帝塚山大学心理学部
B-27	ソーシャルスキルがレジリエンスと精神的健康度に与える影響～青年期の自殺予防の方略を考える～	高間 弘明	帝塚山大学大学院心理科学研究科
健康・看護・医療			
B-28	ストレスマインドセットと心身の健康度の関連	伊藤 晃碧	立正大学心理科学研究科
B-29	20代女性の乳房イメージと乳がん検診行動	赤羽 由美	獨協医科大学看護学部
B-30	長期的課題における伸び悩み時の反応と克服 —楽観傾向群と悲観傾向群の比較—	本多 麻子	東京成徳大学応用心理学部
B-31	(発表取り消し)		
B-32	看護師の初期キャリア発達支援に関する研究 入職3年間の自己効力感と組織コミットメントの関連	竹内 久美子	和洋女子大学看護学部
B-33	患者からのコミュニケーションへの対応について	林 潔	白梅学園短期大学
犯罪・社会			
B-34	大学生における旅行動機尺度の作成	中井 宏	大阪大学大学院人間科学研究科
B-35	男性のメイクアップ化粧品の使用実態と化粧意識 メイク度と年代の差異による化粧意識の違い	九島 紀子	立正大学心理学部
B-36	怒り喚起場面および怒り表出行動実行場面の検討	長澤 里絵	立正大学心理学部

- | | | | |
|------|----------------------------------|-------|------------|
| B-37 | 虚偽検出検査における質問提示方法の検討
(4) | 軽部 幸浩 | 日本体育大学 |
| B-38 | 眼球運動指標を用いた隠匿情報検査—刺激の特性が検出に及ぼす影響— | 小野 洋平 | 駒澤大学文学部 |
| B-39 | 日本人は本当に集団主義的か —日本人意識と集団主義的自己認識— | 柿本 敏克 | 群馬大学社会情報学部 |

産業・災害・交通

- | | | | |
|------|--|--------|----------------------------|
| B-40 | fNIRSを用いた若者における会話の運転への影響の実験的研究 | 今井 靖雄 | 帝塚山大学大学院心理学研究科 |
| B-41 | チャイルドシート不使用と関連する保護者の認識 | 中野 友香子 | 科学警察研究所 |
| B-42 | 災害ボランティア活動時の事故と危険回避に関する研究 (2) | 太刀掛 俊之 | 大阪大学キャンパスライフ健康支援センター |
| B-43 | 水平押し作業における発揮力知覚の分析 | 高橋 明子 | 独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所 |
| B-44 | 成人ADHD傾向における主体的な移動時の不注意傾向 | 小菅 英恵 | 筑波大学大学院 |
| B-45 | 健常高齢群および一般成人群との比較から建設技術者がリスクテイキングへ至る背景要因に関する研究 | 藤本 吟藏 | 大阪大学大学院人間科学研究科 |

スポーツ

- | | | | |
|------|---|-------|------------------|
| B-46 | 競技スポーツのパフォーマンスにおける機能的思考の検討
思考内容および機能の個人別構造 | 有富 公教 | 筑波大学大学院人間総合科学研究科 |
|------|---|-------|------------------|

日本応用心理学会第 85 回大会 賛助団体御芳名

(敬称略・五十音順)

株式会社北大路書房

株式会社ナカニシヤ出版

株式会社クロスマーケティング

福村出版株式会社

啓明出版株式会社

株式会社ブックマン京都

特定非営利活動法人 このはな児童学研究所

楽天リサーチ株式会社

本大会を開催するにあたり、上記の諸団体より多大なご支援を賜りました。

ここに、そのご芳名を記して感謝の意を表します。

2018 年 7 月 6 日

日本応用心理学会第 85 回大会

白井 伸之介

日本応用心理学会第 85 回大会委員会

大会委員長

白井 伸之介

大阪大学大学院人間科学研究科

大会副委員長

篠原 一光

大阪大学大学院人間科学研究科

事務局長

中井 宏

大阪大学大学院人間科学研究科

事務局幹事

森泉 慎吾

大阪大学大学院人間科学研究科

大会委員

上田 真由子

大阪大学大学院人間科学研究科

寺口 司

大阪大学大学院人間科学研究科

北村 昭彦

大阪大学大学院人間科学研究科

富田 瑛智

大阪大学大学院人間科学研究科

太刀掛 俊之

大阪大学キャンパスライフ健康

綿村 英一郎

大阪大学大学院人間科学研究科

支援センター

(五十音順)

表紙デザイン

太子 のぞみ 同志社大学・日本学術振興会特別研究員

日本応用心理学会第 85 回大会プログラム

発行日

2018 年 7 月 30 日

発行者

日本応用心理学会

第 85 回大会委員長 白井 伸之介

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-2

印刷・製本

株式会社 正文社

北大路書房

〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8

☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393

http://www.kitaohji.com

シリーズ 知能・性格心理学

心理学と仕事9
—2018年発行予定！— 太田信夫監修 浮谷秀一編集 A5・約200頁・予価2200円＋税 性格と知能に関する心理学知見をまとめ、その研究手法や仕事の現場でどのように活かされているかを紹介する。性格心理学では、遺伝と環境の影響や一貫性論争など根本的な背景、性格理論なども言及。知能心理では、EQや人工知能に関するトピックも扱う。

犯罪行動の心理学【第6版】【仮題】

—データが示す犯罪リスク因子— J. ボンタ・D. A. アンドリュウ著 原田隆之・津富 宏訳 A5・約704頁・予価6500円＋税 膨大なデータに基づいて犯罪行動を科学的かつ綿密に分析し、犯罪のリスク因子、リスク・アセスメント、治療原則などについて解説。犯罪心理学の実践を転換し、世界中の犯罪・司法臨床現場に影響を与えた知見をまとめる。

リーダーシップ教育のフロンティア【研究編】

—高校生・大学生・社会人を成長させる「全員発揮のリーダーシップ」— 中原 淳監修 館野泰一・高橋俊之編著 A5・208頁・本体2400円＋税 次世代のリーダー育成はどうあるべきか。本書では、リーダーシップを学習により誰でも獲得できると提言。研究と開発、理論と実践、企業と大学相互の視点を整理し、求められる枠組と教育手法の構築を試みる。

効果を高めるヘルス・コミュニケーション【仮題】

—2018年刊行予定！— C. アブラハム・M. クールズ編著 竹中晃二監訳 B5・約256頁・予価3800円＋税 健康的な選択を促したり、薬剤や医療手続きなどの情報を正確に提供する必要がある保健医療分野で働く専門家に向け。フォーマットとコンテンツの2領域を軸に、根拠に基づく資料づくりで、患者の行動パターンを変容させる工夫を紹介する。

心理学ベーシック 第4巻 なるほど！心理学観察法

三浦麻子監修 佐藤 寛編著 A5・232頁・本体2200円＋税 現実に即したデータを収集できる研究方法であるが、心を直接見ることは難しい。心の動きや働きを知るためには、行動を観察することとなる。本書では、科学的観点からデータを収集し、整理・分析して報告するための理論と技法を解説。目指すゴールを描きながら学べるように、実例も幅広く紹介。

「テロとの戦い」と心理学【仮題】

—「心理学的拷問」に反対した心理学者たち— アメリカ心理学会独立調査委員会編 五十嵐靖博監訳・解説 四六・約256頁・予価2200円＋税 「国家安全保障に関する尋問」に関与することに反対する活動が続けてきた心理学者による報告書を邦訳。人道や科学者・専門家の倫理を重んじる価値観のもとで拷問に反対した活動の展開とその到達点を示す。

リーダーシップ教育のフロンティア【実践編】

—高校生・大学生・社会人を成長させる「全員発揮のリーダーシップ」— 中原 淳監修 高橋俊之・館野泰一編著 A5・208頁・本体2200円＋税 意欲や主体性を引き出す効果的なリーダーシップ教育の具体的なデザインを紹介。大学での実践を起点に企業や高校までも架橋し、変革する社会に対応できる人材の早期育成をめざす。

たのしいベイズモデリング【仮題】

—事例で拓く研究のフロンティア— 豊田秀樹編著 A5・約240頁・予価2700円＋税 国内の研究者が、身近で親しみやすい話題でベイズモデリングの魅力を伝える。有意性検定による統計分析から、より自由なモデリングを可能とするベイズ統計へと誘う。これまで諦めざるを得なかったような統計モデルが、次々と実装され、読者垂涎の事例集。

心理学って面白そう！
どんな仕事で活かされている？

シリーズ 心理学と仕事【全20巻】

シリーズ 監修 太田信夫

●A5判・約160～220頁・予価2000～2600円＋税

- | | | | | |
|-------------|------------|------------|-------------|----------------|
| 1 感覚・知覚心理学 | 2 神経・生理心理学 | 3 認知心理学 | 4 学習心理学 | 5 発達心理学 |
| 6 高齢者心理学 | 7 教育・学校心理学 | 8 臨床心理学 | 9 知能・性格心理学 | 10 社会心理学 |
| 11 産業・組織心理学 | 12 健康心理学 | 13 スポーツ心理学 | 14 福祉心理学 | 15 障害者心理学 |
| 16 司法・犯罪心理学 | 17 環境心理学 | 18 交通心理学 | 19 音響・音楽心理学 | 20 ICT・情報行動心理学 |

心理学概説

—心理学のエッセンスを学ぶ—

巖島行雄・横田正夫 編 B5判／320頁

ISBN 978-4-87448-036-6 本体価格 3,000 円＋税

本書は心理学の広範の領域をすべてカバーし、各専門領域に携わる研究者 78 名が最新の知見を網羅して執筆。

初学者に理解し易いように各頁の左右のスペースに専門項目を抽出し心理学の学習に役立つようにした。それらの項目は将来専門書を読むために必要な専門用語であり、その英訳も付した。また各章末に興味・関心をもたれるトピックを用意した。心理学の応用領域（健康、環境、臨床、異常）の各章も丁寧に説明し、目撃証言の心理学研究の章や宇宙空間体験の心理学の章などは類書で触れられないものの章で興味深く解説。

心理学の基礎英単語帳 [新装版]

—心理学のための英語学習の手引— (付き)

羽生和紀 著 A5判／本体価格 695 円＋税

ISBN 978-4-87448-039-7

心理学を初めて学習する学生諸氏向けに、心理学の最も基本の専門用語約 1000 語の英語とその日本語訳を並列に載せた単語帳で、特に重要な用語を選び*印を付けた新装版です。本書は 1000 語という限られた語数と初学者向けという目的から、最先端の知見にかかわる用語を選択するというよりも、一定の評価が定まり、その研究領域の専門家のみではなく、ある程度広く普及した用語を選んで収載しました。巻末には大学新入生や大学院生向けの心理学のための英語学習法の手引きを付けて、常時学習できるようにしました。初学者必携の書。

新訂 ベーシック心理学

巖島行雄
羽生和紀 編

A5判／本体価格 2,400 円＋税

ISBN 978-4-87448-021-2

必修 1000 心理学基本用語集

必修心理学用語

A5判／本体価格 500 円＋税

編集グループ編

ISBN 978-4-87448-013-7

こころの発達と学習の心理

岡村一成 著
浮谷秀一

A5判／本体価格 1,781 円＋税

ISBN 978-4-87448-022-9

福祉のまちづくりと福祉テクノロジー

依田光正 著 A5判／本体価格 2,000 円＋税

ISBN 978-4-87448-038-0 C3051

啓明出版 (株)

◆価格は【本体価格＋税】で表示しています。
ご注文は最寄りの書店、購買部または小社にお願いします。
営業部 〒182-0004 東京都調布市入間町 1-13-1

TEL.03-3307-2669
FAX.03-3307-2676

基礎から学ぶ心理療

矢澤美香子 編

初学者のために、それぞれの心理療法の歴史や理論、技法などバランスよく解説。
2,600 円

心の専門家養成講座⑦

学校心理臨床実践

窪田由紀・平石賢二 編

公認心理師やチーム学校等、今日の学校現場に即して解説。
3,000 円

成人発達と

Eイジングの心理学

西村純一 著

成人期から高齢期まで、豊富なデータを用いて解説。
3,500 円

システムズアプローチ入門

◎人間関係を扱うアプローチのコミュニケーションの読み解き方
中野真也・吉川 悟 著
（ものの見方）Ⅱ認識論とその方法論による臨床実践への誘い。
3,500 円

質的研究のための理論入門

◎ポスト実証主義の諸系譜
P・ブラサド 著／箕浦康子 監訳
質的研究を生み出す様々な理論的系譜について明快に解説。
3,800 円

犯罪心理学

犯罪心理学

◎再犯防止とリスクアセスメントの科学
森 文弓 著
矯正現場での経験を踏まえた筆致で、実務家にも役立つ。
4,600 円

夢のフロンティア

◎夢・思考・言語の三元論を超えて
ブレッシユナール 著／鈴木健一 監訳
夢は人間の心理や脳について何を語り、何に貢献するのか。
3,600 円

心の専門家養成講座③

心理アセスメント

◎心理検査のミニマム・エッセンス
松本真理子・森田美弥子 編
計 71 の心理検査を解説。
3,500 円

ノードとしての青年期

高坂康雅 編
文化や社会などの影響を受けやすく、様々な問題が起こりやすい青年期に多角的に迫る。
2,400 円

社会心理学におけるリーダーシップ研究のパス・ペクティブⅡ

坂田桐子 編
ホットなトピックを紹介。
4,500 円

アジアの質的心理学

◎日韓中台越クレストーク
伊藤哲司・吳宣兒・沖潮満里子 編
近隣アジアではどのような質的研究がなされているのか。
2,500 円

心理統計のためのSPSS操作マニュアル

◎t検定と分散分析
金谷英俊・磯谷悠子・牧 勝弘 他著
具体的な例題で説明。
2,500 円

ナカニシヤ出版

TEL 075-723-0111 〒606-8161 京都市左京区一乗寺木ノ本町15
FAX 075-723-0095 <http://www.nakanishiya.co.jp/> (税抜価格)

このはな心理臨床セミナーご案内

●ワークショップ

【受講料】各2万円（学生1万円）

事例で学ぶカウンセリング概論	井村 修	9月23日
臨床動作法の実践	鶴 光代	10月21日
心理アセスメントと支援技法の選択	村瀬嘉代子	11月4日
初期の面接における感情変容	岩壁 茂	12月2日
セラピスト、対人援助職の「こころをたがやす」フォーカシング ーセラピスト・フォーカシングとインタラクティブ・フォーカシング	伊藤研一	2019年 1月20日
脳損傷高齢者とニューロサイコアナリシス（神経精神分析） ～脳、こころ、身体をつなぐアプローチ～	秋本倫子	2月17日

お申込み・お問い合わせ・パンフレットのご請求はこちらへ 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-25-2 1F

このはな児童学研究所

TEL 03-3639-1790

FAX 03-3639-2968

URL <http://www.konohana.jp>

メール konohana@konohana.jp

生きる力を育む生徒指導

藤田主一・齋藤雅英・
宇部弘子・市川優一郎 編著

A5判／並製／192ページ
■定価 2484 円 (2300 円＋税)

生徒指導の重要概念や教師が直面する具体的な問題について解説しながら、教育相談や進路指導などとの関係の中に生徒指導を位置づける。平成 29 年度告示学習指導要領に対応。

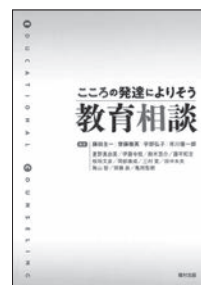


こころの発達によりそう教育相談

藤田主一・齋藤雅英・
宇部弘子・市川優一郎 編著

A5判／並製／192ページ
■定価 2484 円 (2300 円＋税)

子どもの発達に関する基礎知識、カウンセリングの理論・技法、学校内外の関係者との協働について解説。教職課程で学ぶ学生、教育現場に関わる人、保護者に最適の一冊。



アピアランス〈外見〉問題と包括的ケア構築の試み

医療福祉連携と心理学領域とのコラボレーション

原田輝一・真覚 健 編
A5判／並製／260ページ
■定価 3240 円 (3000 円＋税)

熱傷やがんなどの疾患や先天的要因による複雑かつ多岐にわたる〈外見〉問題の包括的ケア実現に向け、医学・心理学の両面から基礎理論と臨床実践について解説。原田輝一 vs 大坊郁夫対談収録。



日本人の認知的特徴と人格的成長に関する文化心理学

相互協調的自己観と包括的思考

伊坂裕子 著
A5判／並製／160ページ
■定価 3564 円 (3300 円＋税)

日本人は本当に集団主義的で自己卑下的か？ イデオロギーに偏った従来の日本人論とは異なる実証的な立場から、文化心理学の理論をもとに日本の文化と日本人について考える。



心理臨床家のあなたへ

ケアをするということ

皆藤 章 編著・訳

A5判／並製／176ページ
■定価 2592 円 (2400 円＋税)

心理臨床家にとって最も大切な「ひとを知ること」とは、知識ではなく目の前に呼吸する人の「生きる」を「知る」ことである。臨床家の在りようを著者 40 年の臨床家人生をもとに語る書。

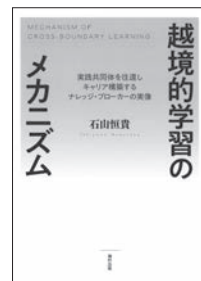


越境的学習のメカニズム

実践共同体を往還しキャリア構築するナレッジ・ブローカーの実像
石山恒貴 著

A5判／並製／240ページ
■定価 2808 円 (2600 円＋税)

会社等の枠を越境して学びの場を求める「越境的学習」が企業の人事部門から注目されている。先行研究をレビューし、事例研究をもとに働く人とその組織にもたらす効果を検証する。



君の悩みに答えよう

青年心理学者と考える 10 代・20 代のための生きるヒント

日本青年心理学会 企画／大野 久 他編

A5判／並製／176ページ
■定価 1512 円 (1400 円＋税)

若者が悩みと真剣に取り組めるよう、応援したい！ 青年の心を研究し続けてきた専門家たちが、多感な年頃の悩みや違和感に Q & A 形式で回答。進路指導・学生相談にも最適！ 発売以来好評中！



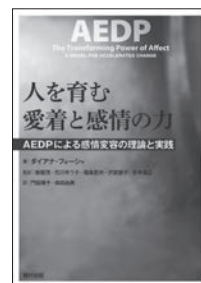
人を育む愛着と感情の力

AEDP による感情変容の理論と実践

ダイアナ・フォーシャ 著／岩壁 茂 監訳

A5判／上製／480ページ
■定価 7560 円 (7000 円＋税)

会社等の枠を越境して学びの場を求める「越境的学習」が企業の人事部門から注目されている。先行研究をレビューし、事例研究をもとに働く人とその組織にもたらす効果を検証する。



現代社会と応用心理学 〔全 7 巻〕【日本応用心理学会 企画】 各巻 A5 判 / 2592 円 (2400+ 税)

クロースアップ ①「学 校」 ②「恋 愛」 ③「健 康」 ④「メンタルヘルス・安全」
⑤「メディア」 ⑥「高齢社会」 ⑦「犯 罪」

好評発売中！

福村出版

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-14-11
TEL : 03-5812-9702 FAX : 03-5812-9705 <https://www.fukumura.co.jp>